



優々sacの作り方説明書

品名 **un**(アン)

～基本のペタンコバッグ～

裏なし、芯なし、マチなしの基本的なバッグです。

手縫いの練習題材として取り組みやすいと思います。

また、生地を変えたり、大きさを変えることでいろんな場所で活躍するものができますよ。

さあ、まずは1つ、楽しくチクチク縫ってみましょう。

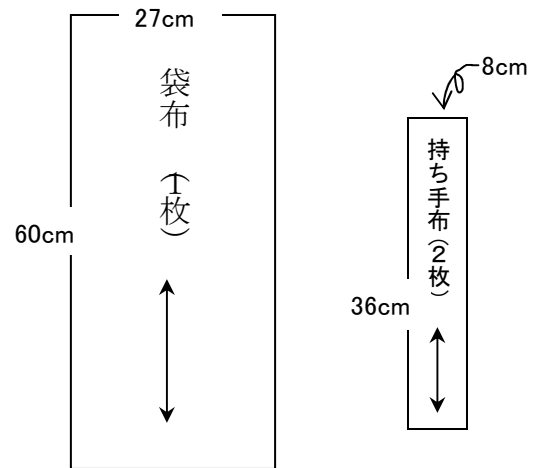
出来上がり寸法 縦26cm×横24cm
持ち手部分:30cm×2本

***材料** : 袋布 幅27cm×長さ60cm
持ち手布 幅8cm×長さ36cm×2本分
手縫い糸 10m

***必要な道具** : 手縫い針、待ち針、糸切りばさみ

***あると便利な道具** : 布用しるしつけペン、ものさし
しつけ糸(しろも・いろも)、目打ち

☆濃い赤色で表記してあるものは標準キットに含まれているものです。

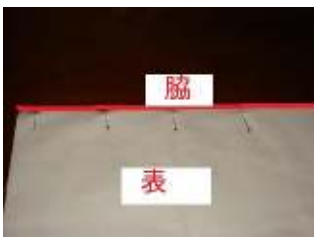


※図内の矢印は布地の縦糸の方向を表しています。

1. 布を半分に折って両脇を袋縫いで縫い合わせましょう。



袋布を外表（布の表面が外側）になるように縦を半分に折ります。



片方の布端を合わせて、布がずれないように待ち針で数か所止めます。
通常、待ち針を止める順番は、①両端、②真ん中、③待ち針同士の間……となりますが、この場合は基準をバッグ口としますので、バッグ口の方から順に5～6cm間隔で止めた方が布地がずれにくいと思います。

さらに、初心者で待ち針をつけた状態で本縫いをするに抵抗がある場合は、この段階で粗くしつけをしておくといいでしょう。



布端から約 5 mm のところを並縫い（ぐし縫い）します。

目分量でわかりづらい場合は布用しるしつけペンやチャコペンで線を引いておきましょう。

端から端まで縫い終わったら、もう片方の脇も同じように縫います。

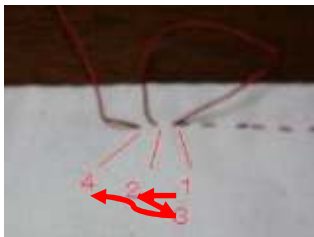


両脇が縫い終わったら、爪アイロンで縫い代を割ります。

きっちり仕上げたい場合は電気アイロンでも良いと思いますが、爪アイロンの方が手縫いの柔らかい感じが出るといいます。



中表にひっくり返し、角は目打ちなどで整え、縫い合わせた脇を爪アイロンしておきます。



中表に合わせた脇の端から約 1 cm のところを返し縫いします。

最初と同じように、布がずれないように待ち針を数か所留めてから縫います。

キットの布には布用シャープペンシルで薄く線がついていますのでそれを目安にすると良いでしょう。



両脇の返し縫いが終わったら、縫い代を同じ面に沿って倒し爪アイロンをしておきます。



バッグ口から約 2 cm のところを裏に折り返した状態で爪アイロンをします。

2. 持ち手を作りましょう。



持ち手布を外表になるように半分に折り、爪アイロンします。



広げて、布端が折り目にくるように両端をたたみ、爪アイロンします。



再び中央の折り目で折り、4枚重ねの状態にします。



端から1～2 mm のところを並縫いします。
同じようにもう1本の持ち手も作ります。

3. 持ち手をバッグに取り付け、バッグ口を仕上げましょう。



バッグの脇から約5 cm のところに持ち手の“わ”の方がくるようにして
持ち手の先端をバッグ口の折端から約1 cm のところに合わせ、縫いとめておきます。



バッグ口をさらに約2 cm 折りたたみ、爪アイロンをかけてから端から1～2 mm のところを並縫いします。



持ち手と一緒に、バッグ口から 1 ～ 2 mm のところも並縫いします。



持ち手の浮いている部分はまつり縫いで留めて出来上がりです。



お疲れさまでした。

いかがでしたか。

わからない点がありましたら、メールにてお問い合わせください。

優々 s a c